

2019年6月14日、バンクーバー -- カナダのバンクーバーで開催されたザ・コンシューマー・グッズ・フォーラムのグローバル・サミット最終日の主要メッセージをまとめてみましょう。キーノートセッションではウォルマート・インターナショナル社長兼最高経営責任者（CEO）のジュディス・マケナ氏らが登壇しました。

内部からの変革

ウォルマートのジュディス・マケナ氏は同社の変革への取り組みと、その取り組みで重視している内部からのビジネス改革について概説しました。5年前に始動したこの取り組みでは、既存資産を最大限に活用し、時間の節約という顧客の最大級の悩みを解決するオムニチャンネルビジネスの構築に注力しています。この取り組みを進めるには、従来型ビジネスを縮小し、スピードとアジリティを軸とするデジタルなベストプラクティスに目を向ける必要があります。同社の主要な変革の一つは、より多くのリスクを取る意欲であり、複数のイニシアチブに対して試行錯誤を重ね、若干数ですが大規模な賭けを続けています。昨年買収したインドのフリップカートから包括的な顧客中心主義を学び、ソリューションを繰り返し、成功を重ねています。

スキルだけでなく発想も転換

ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラムのエンド・ツー・エンド・バリューチェーンのディレクター、ルーディガー・ハーゲドルン氏はスタートアップ企業をクローズアップしたセッションで、大企業にスタートアップ企業を取り入れる方法を説明しました。これについて4名のスタートアップ企業のリーダーが意見を披露し、スピーディーな経営、新たなアイデアを最大限に膨らませるための自由とスペースの確保、リスクを取ることへのインセンティブと報酬がいかに重要か力説しました。セッションに参加した4名のリーダーは、Punchh 共同創設者兼事業開発ヴァイスプレジデント（VP）の Sastry Penumarthy 氏、Maistering の CEO 兼人工知能（AI）ビジネス・アーキテクトの John Brahim 氏、Catchpoint の CEO 兼共同創設者の Mehdi Daoudi 氏、WhyteSpyder の CEO の Eric Howerton 氏です。

実用的で有意義な協働

ウォルグリーンズ・ブーツ・アライアンス代表取締役副会長兼 CEO のステファノ・ペッシーナ氏と、ジョンソン・エンド・ジョンソン理事会会長兼 CEO のアレックス・ゴースキー氏によるセッションは協働に注目したものでした。ザ・コンシューマー・グッズ・フォーラムのマネージングディレクター、ピーター・フリードマン氏の司会のもと、極めて個人的なレベルで信頼を築きながら協働を開始する方法を両者が簡潔に説明しました。ビジネスリ

リーダーたちが示した重要な教訓のひとつは、ビジネスとしての採算と消費者に有意義で価値ある成果を届けることを主眼に、すぐに実施できる実用的な取り組みを2、3点見いだして協働することです。

優れた成長実績があっても変革を推進

製パン世界最大手への成長を遂げた、グルポ・ビンボ理事会会長兼 CEO のダニエル・セルビトヘ氏は成長を支える要素をまとめました。挑戦者の姿勢、クリエイティブなマーケティングキャンペーンによる人とのつながり、途切れることのない成長の追求と販路拡大、人間中心の力強い理念、忍耐強さがビジネス運営の基本方針となっているとしています。一方、優れた成長実績があるにもかかわらず、流通モデルの変更、イノベーションへの新たなアプローチの開発、さまざまな手段による製造施設との連携、コアプロセスのデジタル化を通じた変革にも着手しています。

ギグエコノミーを受け入れる

Jyve Corporation 創業者兼 CEO のブラッド・オーバーワガー氏はリテールの労働力の未来に目を向け、ギグエコノミーの可能性を簡潔に説明しました。ギグエコノミーは多くの人から過小評価されていますが、新たなデジタルプラットフォームの出現は企業にビジネスを支える労働力の調達方法を転換する機会をもたらすと強調しました。そして将来的には正社員の概念が変わり、人は組織と職務をシームレスに移行するようになると確信していると述べました。

探検家をもたらすインスピレーション

サミットの参加者は消費財業界以外の講演者による、インスピレーションあふれる2つのセッションも体験しました。極地探検家のヴィンセント・コリヤード氏は極地方の脆弱な環境について力説し、ソリューションにつながる機会を捉えるようリテラーとメーカーに強く働きかけました。宇宙飛行士として機長の経験を持つスコット・ケリー氏は、宇宙で過ごした1年から得た教訓を語り、人生で最大級の試練に挑戦するうえで必要なことを述べました。